現代 かわら版 KAWARABAN

札幌西部に10棟も

都会のそばに魅惑の山小屋

札幌の西側に位置する山岳エリアには、学生や一般登山者らが長く親しんできた山小屋が現在10棟ある。大都市近辺で、身近に使える山小屋がこれほど集中しているのは世界でも例を見ない。スキーツアーのための「山小屋の鎖」構想のもと、大正末期―昭和初期に建てられた小屋が核となり、ピーク時には20棟以上を数え、文化遺産との声も上がる。一部を除き、所有する大学などでは、広く一般市民の利用を呼びかけている。（黒川伸一）

鎖状に並んだ10の山小屋の位置

体験貴重「もっと利用を」

進む老朽化 かさむ維持費

札幌近郊の山小屋の歴史は85年前にさかのぼる。北大スキー部が創立15周年を記念し、スキーツアーの拠点作りを目指して1926年（大正15年）、手稲山に「デイネ・パラダイス・ヒュッテ」（手稲パラダイス・ヒュッテの前身）を建設。翌27年（昭和2年）には白井岳近くにヘルベチア・ヒュッテ、28年（同3年）に空沼岳中腹に空沼小屋―と立て続けに山小屋が誕生した。この3棟は北大予科ドイツ語教師アーノルド・グプラー氏、札幌など滞在していた建築家マックス・ヒンデル氏の2人のスイス人が関わり、丸太組みのスイス式小屋として生まれた。

その後も戦前を中心に、手稲山―春香山―朝里岳―余市岳―無意根山―喜茂別岳―漁岳―空沼岳―札幌岳の山中、山麓に山小屋の建築が相次ぎ、建築棟数は全部で二十数棟にも及んだ。

「こうした小屋群は、定山渓温泉を中心としたたちで用意した食事を前『山小屋の鎖』構想の一環で建築されました。ここに語り合うヒュッテン・レーベン（小屋の生活）の醍醐味が凝縮し、地滑りを楽しむことになる。

「隔絶された世界だからこそ、考え、語り合えることができる。こんな忙しい世の中で、静謐な時間を半ば強制的に持つことはある意味、大切なのではないか。こうしたことの深さ、厳しさに触れる子で雪の上を歩き、自然の中で過ごすことができる山小屋は、現代人にとって貴重な場所」

北大の山岳部、山スキー部、ワンゲル部、総合博物館合同の調査によると、札幌近郊には一般開放されていることのある山小屋のうち、戦前建築の3棟は建て替えられたが、13棟は残った10棟は山岳系クラブの学生中心に、利用が盛んなものばかりだ。

しかし故秩父宮殿下の山荘として建てられた輝かしい歴史を誇る空沼小屋は、土台の沈下や傾斜が進み、2006年10月から閉鎖され、北大山岳部OBが中心となり、存続に向けて調整が続いている段階。他の小屋も手稲山の裏側にあり、建て直しが進み、「維持・管理に費用がかかる」（東海大OB）のが実情だ。

戦前に建築されて、当時の建物のまま残存しているのは、ヘルベチア・テを中心に、一般利用の愛好者は少なくない。6日に親子、スタッフ合わせて38人で同ヒュッテを利用した札幌の自然体験クラブ「COCOROC（ココロコ）」の畑子秋代表は、こう話す。「親子で雪の上を歩き、自然の深さ、厳しさに触れながら、さまざまな体験を通じ新たな発見をすることができるので、5年前から使わせてもらっています。山小屋は、心に染みることを体験できる貴重な場所」

北大の山岳部、山スキー部、ワンゲル部、総合OB、友の会組織のいわばボランティア。

例えば、北大が所有する小屋を見てみると、ヘルベチア・ヒュッテは山岳部員、奥手稲山の家はワンゲル部員、無意根小屋は山スキー部員、手稲パラダイス・ヒュッテは山スキー部とワンゲル部のOBが小屋番を務めるOBが小屋番として携わっているという。

北大山岳部顧問の鎖邦芳さんは「現役部員は山岳に出ないときに交代で小屋番に入っているが、毎週は到底無理」と現状を話す。その上で、北海道ではスキーを使った登山は冬山に取り組む上で重要で、その拠点となる小屋は大切。文化遺産としての意義もあり、小屋を残していくためにも一般登山者にもっと使ってもらいたい」と話す。

北大山スキー部顧問の片倉晋さんは「小屋の生活を通じて部員たちは山の技術を習得し、より厳しい山を目指してきた。部ではかつて『ムイネソアー』と称して、無意根小屋を使って一般市民をスキーツアーに案内してきた歴史もあり、原点である小屋を多くの人に知っていただければ」。

前年度実績で年間160人の利用者（休憩を含む）があった東海大学銀嶺荘を抱える東海大OBの畑子秋代表は「経費持ち出しも少なくないが、小屋を通じて大学を知ってもらう意義もあり、一般市民の利用は大歓迎」（学長室広報渉道企画調整課・越智陽子主査）と呼びかけている。

札幌近郊の山小屋の最大の特色が、週末を中心に滞在する小屋番の存在だ。専任の小屋番を置く東海大学銀嶺荘以外は、山岳系クラブの大学生や

人による効率化優先の影響を懸念する声は少なくない。

札幌西部の山小屋（位置は略図上の番号）

小屋名	位置	建設年	建て替え	定員	現所有者	一般開放	小屋番（滞在めど）	宿泊料金（1人1日）	問い合わせ先
手稲パラダイス・ヒュッテ	❶	1926	1995	30	北大	○	週末	夏490円 冬610円	北大サークル会館 011・706・7456
ヘルベチア・ヒュッテ	❹	1927		12	北大	○	週末	夏160円 冬240円	同
空沼小屋	❽	1928		30	北大	閉鎖中			同
奥手稲山の家	❷	1930		48	北大	○	週末（冬）	80円	同
無意根小屋	❻	1931		30	北大	○	週末	夏100円 冬140円	同
東海大学銀嶺荘	❸	1932	1960	50	東海大	○	ほぼ常駐	800円	東海大札幌キャンパス 011・571・5111
冷水小屋	❿	1933	1952	30	北海学園大	○	週末（1～10月）	夏300円 冬350円	北海学園大学生部学生課 011・841・1161
中山小屋	❼	1952		30	北海学園大	○	週末（6～10月）	夏300円 冬350円	同
白井小屋	❺	1951		25	札幌医大	×			札幌医大学務課 011・611・2111（内）2193
万計山荘	❾	1965		20	石狩森林管理署	○	週末（6～10月）	募金方式	万計山荘友の会・長水さん 011・571・7728

※「北海道大学の山小屋」（北大総合博物館刊）や、各大学、石狩森林管理署などによる。一般開放されたことがある小屋が対象。小屋によっては小屋番は不在のことが多く、詳細は問い合わせ先へ

積雪期にはスキーツアーの拠点として人気のある奥手稲山の家＝3月27日

道内で建てられたスイス式の山小屋では最古のヘルベチア・ヒュッテ＝2月27日

手稲パラダイス・ヒュッテで「ヒュッテン・レーベン」を体験する子供たち＝6日、柴康雄さん提供）

宮西投手への質問 お寄せください

プロ野球北海道日本ハムの選手らにインタビューする「ズームインF戦士」は、皆さんからの質問を募集しています。今月は、セットアッパーとして今季も活躍が期待される宮西尚生投手が登場する予定です。宮西投手への質問をお寄せください。

はがきに住所、氏名、年齢、職業、電話番号を記入の上、〒060・8711（住所不要）北海道新聞札幌圏部「ファイターズ」係へ。電子メールsapporo@hokkaido-np.co.jpとファクス011・210・5556でも受け付けます。締め切りは17日。

登場した選手のサインを抽選で5人にプレゼントします。ファン取材で応募者にご連絡する場合があります。